



日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会-日本臨床疫学会 ジョイント企画

臨床研究の道標 ワークショップ

令和7年度 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会（期間・開催地）において、すべての耳鼻咽喉科頭頸部外科医を対象に、臨床研究の研究デザインを学ぶ特別ワークショップを開講します。

令和8年11月28日 土曜日
午前9:20-12:00

講師：福原 俊一 先生

日本臨床疫学会 代表理事
京都大学名誉教授、福島県立医科大学副学長
慶応義塾大学・Johns Hopkins大学客員教授

福原先生は日本の臨床研究や、QOL研究の第一人者として知られ、『臨床研究の道標』をはじめとする著書も多数出版されています。また、京都大学MCRプログラム、「臨床研究デザイン塾」や、オンラインプログラム「CLiP Extension」などの多くの教育プログラムを開講されてきました。



プログラムリーダー

土方 保和 先生 京都大学医学研究科 地域医療システム学臨床疫学グループ 講師

ファシリテーター

柳井 亮 先生

昭和医科大学 医学部内科学講座リウマチ膠原病内科学部門 講師

浦口 健介 先生

岡山大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教

JAMA Otolaryngologyに原著論文を投稿しましょう！

本WSでは、『臨床研究の道標』をもとに、良質なリサーチクエスションに根差した研究デザインの手法を基礎から学びます。解像度の高い講義とグループワークから構成される2時間半の実習です。臨床研究の経験がない方、疫学研究の計画の立案を考慮しているが何から始めれば良いかわからない方、ぜひ受講ください。

- 現地開催のみ、オンライン聴講はありません
- 事前学習として、15-30分程度の動画10本程度の視聴が必要です

お申込みはこちらから ※11月10日(火)正午締切 →

